

平成 31 年度

愛媛大学農学部第 2 年次
編入学学生募集要項

愛媛大学農学部

目 次

1. 農学部アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
2. 募集人員	1
3. 編入学の時期及び編入学年次	1
4. 出願資格	1
5. 出願手続	2
(1) 出願期間	2
(2) 出願書類等送付先	2
(3) 出願書類	2
(4) 注意事項	2
(5) 検定料の返還	2
6. 選抜方法等	3
(1) 選抜方法	3
(2) 採点・評価の基準	3
(3) 可否の判定基準	3
(4) 配点	3
7. 試験の日時、内容及び場所	3
(1) 試験の日時	3
(2) 場 所	4
8. 合格者発表	4
9. 確約書の提出	4
10. 入学手続	4
11. 初年度の諸経費	4
12. 入学後の履修及び既修得単位の認定	4
(1) 入学後の履修	4
(2) 既修得単位の認定	4
13. 障がい等を有する入学志願者の事前相談	5
14. 入学試験個人成績の開示	5
15. 第2年次編入学試験に関する問い合わせ及び募集要項請求先	6
16. 個人情報の取扱い	6

（裏表紙内側）愛媛大学農学部への交通案内

【添付書類】愛媛大学農学部第2年次編入学志願票・写真票・受験票・
払込取扱票・払込受領証・振替払込受付証明書（大学提出用）・
検定料の払い込みについて・検定料振込証明書・志願者名票
在学期間証明書

*この募集要項の元号については、平成31年（2019年）5月1日に改元が予定されておりますが、
新年号が公表されていないため「平成」で表記しています。

1. 農学部アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

農学部は、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給、生命機能の解明と生物資源の利用、生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に関する様々な問題を解決し、自然と共生する持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題の解決に熱意をもち、主体性と多様な能力をもった学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。

（知識・理解）

1. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。
2. 次のいずれかに該当する。
 - A. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの課題を解くことができる。
 - B. 農業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している。

（思考・判断）

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

（関心・意欲、態度）

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

（技能・表現）

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

2. 募集人員

学 科	コース	募集人員
食 料 生 産	植物工場システム学	若干人
	食料生産経営学	
生 物 環 境	地域環境工学	若干人
	環境保全学	

（注） 上記以外の学科・コースについては、平成31年度は実施しません。なお、各コースの内容については「農学部案内」及び農学部HP (<http://www.agr.ehime-u.ac.jp/>) を参照してください。

入学後のコースの変更は認められませんので、出願に際しては、志望するコースの内容を十分確認してください。

3. 編入学の時期及び編入学年次

編入学の時期は、平成31年4月1日とし、第2年次に編入学するものとします。

4. 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者
- (3) 高等専門学校を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者
- (4) 修業年限4年以上の大学に1年以上在学（休学期間を除く。）し、33単位以上を修得している者及び平成31年3月までに修得見込みの者
ただし、本学部在学中の者は除く。
- (5) 学校教育法施行規則第100条の2に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者（大学入学資格を有する者に限る。）
- (6) 外国において学校教育における14年の課程（日本の通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者で、上記(1)(2)(3)(4)(5)の各号の一に相当すると認められるもの
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上のものに限る。）を修了し、大学入学資格を有する者及び平成31年3月までに修了見込みで、大学入学資格を有する者

注) 1. 上記(5)(6)(7)により出願しようとする者は、出願資格等の事前確認を行いますので平成30年10月11日(木)までに農学部入試係へ照会してください。

2. 上記(4)の「大学において33単位以上を平成31年3月までに修得見込みの者」が、入学試験に合格した後にこれらの単位を修得できないことが確定した場合は、合格を取り消します。

5. 出願手続

入学志願者は、出願書類等を一括して、出願期間内に書類等送付先まで「速達・簡易書留」で郵送してください。その際に封筒に「農学部第2年次編入学願書在中」と朱書してください。なお、直接持参しても受理しないので、注意してください。

(1) 出願期間

平成30年11月1日（木）～11月7日（水）

期間内に配達されたもの及び11月8日（木）以降に配達されたもののうち、11月7日（水）以前の日本国内発信局消印のあるものを受け付けます。

(2) 出願書類等送付先

愛媛大学農学部入試係 〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号 Tel:089-946-9648

(3) 出願書類

書類等	摘要
入学志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
受験票・写真票	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
写真	上半身、無帽、正面向きで3か月以内に撮影したものを、受験票及び写真票の写真欄に貼ってください。（縦4cm×横3cm、白黒又はカラー）
出身学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	出身大学長・学校長等が証明したもの 出願資格(4)に該当する者は、所属大学長又は学部長が作成した在学期間証明書（本学所定の用紙）を提出してください。
出身学校の成績証明書	出身又は在学の大学・学校長が証明し、厳封したもの 出願資格(4)に該当し、在学中の者は、平成31年3月までに修得見込の科目及び単位数が分かる書類を添付してください。
検定料	検定料30,000円を最寄りの郵便局又はゆうちょ銀行(他の金融機関からの振込みはできません。)の窓口から払込後(A T Mは使用しないでください。),日附印を押した「振替払込受付証明書(大学提出用)」を「検定料払込証明書」に貼って提出してください。なお、払込後の検定料は、下記(5)の返還請求ができる場合を除き返還しません。 注)愛媛大学に平成31年4月1日時点で1年以上在学している学部学生が農学部第2年次編入学試験を受験する場合は、検定料は不要です。
志願者名票	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
返信用封筒	志願者のあて先を明記し、372円分の切手を貼ったもの (長形3号:12cm×23.5cm)

(4) 注意事項

- ① 入学志願票の記入事項及び出願書類等に不備があるものは、受け付けません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めません。また、出願書類は返還しません。
- ③ 入学志願票及び志願者名票に記入した住所及び電話番号が変更になった場合は、速やかに農学部入試係まで連絡してください。
- ④ 受験票は、平成30年11月9日（金）頃に発送します。受験票が平成30年11月13日（火）までに未着の場合は、農学部入試係へ連絡してください。

(5) 検定料の返還

次に該当した場合は、納入済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

〈返還請求の方法〉

前述①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

前述③の場合は、出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒790-8577 松山市道後樋又 10 番 13 号
 愛媛大学財務部財務企画課出納チーム
 Tel:089-927-9074, 9077 Mail:suitou@stu.ehime-u.ac.jp

6. 選抜方法等

(1) 選抜方法

筆記試験、口頭試問及び面接の結果並びに出身学校等から提出された学業成績を総合して判定します。

学科	コース	選 抜 方 法	
食 料 生 産	植物工場システム学	口頭試問	面 接
	食料生産経営学	筆記試験	
生 物 環 境	地域環境工学	口頭試問	面 接
	環境保全学		

(2) 採点・評価の基準

筆記試験、口頭試問及び面接において、本学部の各コースの2年次以降の学修に対応できる総合的な基礎学力について評価します。

(3) 合否の判定基準

- ① 該当のコースごとに総合点で合否を判定します。
- ② 同点者は、同順位とします。

(4) 配点

学科	コース	筆記試験	口頭試問	面 接	計
食 料 生 産	植物工場システム学		150	150	300
	食料生産経営学	150		150	
生 物 環 境	地域環境工学		150	150	300
	環境保全学				

7. 試験の日時、内容及び場所

(1) 試験の日時

平成30年11月25日（日）午前9時から（午前8時30分までに集合してください。）

コ ー ス	試験等の内容			
	筆記試験	試験時間	口頭試問	面 接
植物工場システム学			生物学, 化学, 物理学から1科目選択し, その選択した科目に関する基礎的知識	志望動機や学習意欲等を問う。
食料生産経営学	食料・農業問題に関する小論文	60分間		
地域環境工学			専門に関わる諸問題	
環境保全学			英語, 数学の計2科目	

(注) ① 筆記試験、口頭試問、面接の時間等については、コースにより異なります。詳細については、平成30年11月22日（木）10時から農学部試験場掲示板に掲示しますので、確認してください。

② 試験当日は受験票を必ず携帯してください。（受験票は入学手続及び入学試験個人成績開示の際にも必要ですから、試験後も大切に保管しておいてください。）

(2) 場 所

愛媛大学農学部 松山市樽味3丁目5番7号

※ 愛媛大学農学部への交通案内（裏表紙内側）を参照してください。

8. 合格者発表

平成30年12月7日（金）午前10時

合格者については、農学部掲示場に受験番号で発表するとともに、合格通知書を本人へ送付します。なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

9. 確約書の提出

編入学試験の合格通知を受けた者は、本人及び保証人が連署した「編入学確約書」を平成30年12月14日（金）までに提出してください。

なお、「編入学確約書」が期日までに提出されない場合は、辞退したものとして取り扱います。

10. 入学手続

編入学確約書提出者には、入学手続関係書類を平成31年2月下旬以降送付します。

入学手続は、平成31年3月14日（木）から3月20日（水）の期間を予定しています。

なお、入学手続後、卒業又は必要単位が修得できないことが確定した場合は合格を取り消し、入学料は返還できません。

11. 初年度の諸経費

初年度に必要な諸経費は、おおむね次のとおりです。

○入学料：282,000円

○授業料：年額535,800円

※入学料及び授業料の額は、平成30年度納付額であり、平成31年度は改定になる場合があります。

※在学中に授業料の改定が行われた場合は、新授業料を適用します。授業料は入学後支払うこととなりますが、納入時期については別途お知らせします。

○その他の経費：約65,000円（学生教育研究災害傷害保険、農学部後援会費、校友会費等）

12. 入学後の履修及び既修得単位の認定

(1) 入学後の履修

第2年次編入学者の修業年限は3年で、在学期間は3年を標準とし、休学期間を除いて6年を超えることはできません。なお、既修得単位認定の結果により1年次及び2年次の共通教育科目を履修することがあります。

卒業に必要な最低履修単位表（卒業要件単位数）

科 目	区 分	履 修 単 位 数
共通教育科目	初年次科目	7単位以上
	基礎科目	11単位以上
	教養科目	15単位以上
専 門 教 育 科 目		96単位以上
計		129単位以上

(2) 既修得単位の認定

編入学者が、本学部に入学前に在籍していた大学等で修得した単位の一部を本学部で修得した単位として、次により認定します。

- ① 編入学者の卒業要件に係る認定単位数の上限は、33単位とする。
- ② 大学、短期大学、高等専門学校卒業生（大学に1年以上在学した者を含む。）又は高等学校等の専攻科修了者（大学入学資格を有するものに限る。）については、共通教育科目（初年次科目、教養科目、基礎科目）の卒業要件単位33単位を一括して本学部の卒業に必要な単位として認定する。
- ③ 専修学校の専門課程修了者については、共通教育科目（初年次科目、教養科目、基礎科目）の卒業要件単位33単位のうち英語4単位を除く29単位を一括して本学部の卒業に必要な単位として認定し、英語4単位については個別に単位を認定する。
- ④ 専修学校の専門課程修了者については、入学前に専修学校において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。以下「既修得単位」という。）のうち、本学部が開設している授業科目と内容が概ね一致するものについて、①に定める単位数から③で認定した単位数を減じた単位数を超えない範囲で、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものと単位を認定する。
- ⑤ ④に定める既修得単位の認定の対象は、1年次の専門教育科目のうち、学部共通科目「統計学入門」、学科共通科目「物理学」「化学」「生物学」「地学」とする。

13. 障がい等を有する入学志願者の事前相談

障がい等を有する入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、原則として平成30年10月11日（木）までに、医師の診断書（写しでも可）又は身体障害者手帳の写しなどで障がい等の状況が確認できるものを添付して、農学部入試係に相談申込書（様式任意）を提出してください。相談申込書は、志願者の氏名、住所、電話番号、出身学校名、志願コース、障がい等の状況、受験上及び修学上の配慮を希望する事項等、出身学校における学習上の配慮及び生活状況等について記載してください。

（注）相談は障がい等を有する志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法や在り方を模索するためのもので、障がい等を有する方の受験や修学を制限するものではありません。

14. 入学試験個人成績の開示

本学では、平成31年度第2年次編入学試験の個人成績を受験者本人に限って、次のとおり開示します。希望者は、期間内に申し込んでください。

- (1) 開示内容: ①個人総合点
②順位（コースごと）
- (2) 請求者: 受験者本人に限ります。（代理人は不可）
- (3) 請求期間: 平成31年5月1日（水）から平成31年5月31日（金）
郵送による請求のみとし、この期間内の消印があるものに限り受け付けます。
- (4) 請求方法: 書面（記入例参照）により、平成31年度愛媛大学農学部第2年次編入学試験受票と402円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号:12cm×23.5cm）を同封して、農学部入試係へ請求してください。
- (5) 開示方法: 請求者あてに、「簡易書留郵便」で送付します。

(請求書面記入例)

平成 31 年 月 日		
愛媛大学農学部長 殿	請求者氏名	印
	受験番号	
	連絡先 電話	— —
第 2 年次編入学試験個人成績開示請求書		
平成 31 年度第 2 年次編入学試験の個人成績を下記のとおり開示請求します。		
記		
	①個人総合点	
	②順位	
開示請求するものを明記してください。		

15. 第 2 年次編入学試験に関する問い合わせ及び募集要項請求先

(1) 試験に関する問い合わせ及び募集要項の請求先

〒790-8566 松山市樽味 3 丁目 5 番 7 号
愛媛大学農学部入試係 Tel : 089-946-9648

Mail: agrgakum@stu.ehime-u.ac.jp

(2) 募集要項等の請求方法

募集要項等の請求は、自己の宛名を明記した返信用封筒（角形 2 号，205 円分の切手貼付）を同封し、「愛媛大学農学部第 2 年次編入学学生募集要項請求」と朱書のうえ、上記 (1) の請求先へ請求してください。

(3) 試験に関連するホームページ

- ① 編入学試験に関する情報 <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/overview-3/>
- ② 農学部に関する情報 <http://www.agr.ehime-u.ac.jp/>
- ③ その他愛媛大学に関する情報 <https://www.ehime-u.ac.jp/>

16. 個人情報の取扱い

本学では、出願受付を通じて取得した氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格者発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを、保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また、本選抜に係る個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。